

令和2年度

事業報告書

〔自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日〕

社会福祉法人 下野市社会福祉協議会

令和2年度社会福祉法人下野市社会福祉協議会事業報告

1. 理事会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
第1回 6月10日(水) (午前9:30～)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」小ホール	9名	【議案】 (1) 令和元年度下野市社会福祉協議会事業報告について (2) 令和元年度下野市社会福祉協議会収支決算報告について (3) 令和2年度下野市社会福祉協議会定時評議員会開催における招集事項について (4) 下野市社会福祉協議会評議員(欠員補充)候補者の推薦について (5) 下野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会開催における招集事項について 【その他】 (1) 令和元年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支決算について (2) 令和元年度栃木県共同募金会下野支会事務費会計収支決算について
第2回 書面により決議をとる決議の省略の方法による 【1月26日(火)をもって理事(現在数)13名全員同意】			【議案】 (1) 令和2年度下野市社会福祉協議会収支1次補正予算(案)について (2) 下野市社会福祉協議会表彰被表彰者の決定について (3) 令和2年度第2回評議員会開催における招集事項について 【報告】 (1) 会長の職務の執行状況について
第3回 3月17日(水) (午後1:30～)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	9名	【議案】 (1) 令和2年度下野市社会福祉協議会収支2次補正予算(案)について (2) 令和3年度下野市社会福祉協議会事業計画(案)について (3) 令和3年度下野市社会福祉協議会収支予算(案)について (4) 令和2年度第3回評議員会開催における招集事項について 【報告】 (1) 職員の採用について 【その他】 (1) 令和3年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支予算について

2. 評議員会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
定時 (第1回) 書面により決議をとる決議の省略の方法による 【6月26日 (金) をもって評議員 (現在数) 27名全員同意】			
第2回 書面により決議をとる決議の省略の方法による 【2月3日 (水) をもって評議員 (現在数) 28名全員同意】			
第3回 書面により決議をとる決議の省略の方法による 【3月26日 (金) をもって評議員 (現在数) 28名全員同意】			
			【議案】 (1) 令和2年度下野市社会福祉協議会収支1次補正予算 (案) について (2) 令和3年度下野市社会福祉協議会事業計画 (案) について (3) 令和3年度下野市社会福祉協議会収支予算 (案) について

3. 評議員選任・解任委員会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
7月7日 (火) (午前9:30～)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」ボランティア ルーム	5名	(1) 下野市社会福祉協議会評議員 (欠員補充) の選任について

4. 監査会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
6月3日(水) (午前10:00~)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」ボランティア ルーム	2名	(1) 令和元年度事務事業の執行について (2) 令和元年度収入支出会計監査について

5. 地域福祉

(1) 地域福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は元年度実績
地区社協の組織整備	地域福祉活動の拠点となる組織整備を図るためにコミュニケーション推進協議会を対象に事業支援を行う中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け東方台地地区での世代間交流事業のみの実施となった。 また、新たな地区への事業説明については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	・国分寺東小学校 ・友愛館	世代間交流事業 ・七夕飾り交流会 68名 ・昔遊び交流会 55名 【104名】
災害ボランティアセンターの設置訓練	災害時、迅速に福祉救援活動・ボランティア支援活動を行うことができるよう、市防災訓練に併せて職員とボランティアによる災害時対応マニュアルに基づいた設置訓練は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	2月13日(土) 中 止	ボランティア 1名 【35名】 社協職員 1名 【25名】 計 1名 【60名】

地域福祉活動計画の推進	第2期地域福祉活動計画（平成29年度～平成33年度）の進捗状況についての下野市地域福祉計画推進委員会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。	中止	推進委員 一名 【9名】
第5回しもつけ福祉大会	地域住民や福祉関係者等が地域福祉の理解を深め、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すために講演会等を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止とした。 また、社会福祉の発展に貢献された方々の表彰は理事会の席上で行うこととした。	2月20日（土） 中止	来場者数 一名 【約150名】 表彰者 ・感謝状（寄付） 個人2名、2団体 【個人1名、2団体】 ・会長表彰 6名 【24名】
一般フリースペース事業	新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、40歳以上の市内居住者を対象に健康維持のため機械を使ったフリースペースを実施した。 ・指導者 健康運動指導士（毎週水曜日） ・チケット 3,000円／11回	月曜日～金曜日 ゆうゆう館 フリースペース室 初心者講習：水曜日（要予約）	延べ利用者 929名 【1,734名】 チケット購入者 延べ 87名 【165名】
緊急食料等給付事業	緊急一時的に食料に困窮する市内に居住する方に、必要な食料の給付を行った。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度より需要が増加した。	通 年	利用世帯 64世帯 【6世帯】

(2) 高齢者福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は元年度実績
ふれあいサロンゆうゆう (市委託事業)	一般介護予防事業としてボランティア等の協力を得ながら、新型コロナウイルス感染症予防対策として、開催日を週2日から週3日の半日の変更と1日の参加人数を調整し、健康体操や講話・講座・レクリエーションなどを行い、介護予防に努めながら孤立感や不安感の解消を図るため実施した。 ・定員 各15名	週3回 (水曜日・木曜日・金曜日) ゆうゆう館 会議室	水曜日12名 延べ211名 【530名】 木曜日13名 延べ263名 【一名】 金曜日14名 延べ218名 【848名】 合計39名 延べ692名 【1,378名】
生活支援体制整備事業 (市委託事業)	高齢者が住み慣れた地域で生き生きとした生活を送れるように、健康づくり及び介護予防に必要なサービスを地域で提供できる体制の基盤づくりの支援や、地域ふれあいサロンの支援を行った。 職員：第1層SC1名・第2層SC6名体制 ・第1層協議体・第2層協議体・SC会議の開催 ・民生委員児童委員・老人クラブへの事業説明 ・各種研修会への参加 ・生活実態調査の実施 ・市民主体の有償ボランティア組織への支援	通 年	・第1層協議体 年1回 【年2回】 ・第2層協議体 年17回 【年36回】 ・SC会議 年40回 【年70回】 ・事業説明 4回 【3回】 ・実態調査 2自治会 【5自治会】

地域ふれあいサロン事業 (市委託事業)	新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら、高齢者が地域の中でいきいきとした生活が送れるよう高齢者と地域住民が共に触れ合う場を作り、地域で支え合うという意識の向上と地域保健福祉活動の促進を図るため、サロン活動の支援と助成金の交付を行った。 自粛期間：4～6月、1～3月	通年	<サロン数> 国分寺地区 13サロン 石橋地区 22サロン 南河内地区 21サロン 合 計 56サロン 【57サロン】
------------------------	---	----	---

(3) 障がい児者福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は元年度実績
障がい児者交流会	心身障がい児者とその家族及び障がい児者団体がミニゲーム等を通して親睦を図ることを目的に、民生委員児童委員・ボランティア等の協力を得て開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	9月19日(土) 中止	障害者・家族 1名 ボランティア 1名 講師、手話通訳 1名 計 1名 【99名】
就労継続B型事業所 なのはな・すみれの運営	在宅の障がい者に作業や集団生活を通じ、地域社会での自立就労を促進し生活訓練等を行い、かつ特定相談支援事業所として利用者が自立した生活が送れるよう相談に応じ、必要なサービスが適正に利用できるよう計画を作成・提供した。また、令和3年度より移転する旧国分寺西小学校施設の改修工事等の調整を行い事業所の移転作業に取り組んだ。 【作業内容】 箱折り、ネームタグ、施設外就労訓練、車部品、説明書の袋詰め、ベビーバンド、緩衝材、おもちゃ部品等	なのはな事業所 すみれ事業所	利用者 12名 【12名】 利用者 9名 【9名】

(4) 児童・青少年福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は元年度実績
安全帽子購入助成事業	市内11小学校の新入学児童を対象に、児童の交通安全・事故防止を目的に学校指定の安全帽子購入費用の一部を助成した。	2月交付 市内小学校	558名 【577名】
福祉活動費助成事業	市内小中学校及び高校を対象に、福祉への理解と関心を高めるとともに、児童・生徒への福祉活動啓発を目的として、1校あたり50,000円の助成を行った。	年間 市内小学校・中学校・高校	15校 (石橋高校はコロナのため辞退) 【16校】
親子ふれあい事業	親子が協力しあい、イベントを通して福祉を身近に感じることとで思いやりの心を育てることを目的に開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	7月25日(土) 中止	参加者 1名 (大人一名、子供一名) 【23名】
登下校時における児童等の地域見守り活動	児童の安全や犯罪防止活動の一環として、通学路等の見守り活動を実施する団体にベスト、助成金を交付し活動の支援を行った。	通年	16単位老人クラブ その他 1団体 活動人数 273名 【355名】

(5) 福祉教育・啓発

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は元年度実績
ふくし移動講座	福祉の推進を目的として、主に学校を対象に福祉に対する理解や関心を深めるきっかけづくりとして、様々な福祉学習プログラムを提供する移動講座を実施した。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各学校1種目とし、体験内容は学校と協議しながら実施した。 【内 容】 ・視覚障がい者による講話と点字学習 ・聴覚障がい者による講話と手話体験 ・車イス体験 ・高齢者疑似体験	通 年 市内各小学校、企業等	小学校 8校 企業等 一社 延べ 14回 【50回】
実習生・職場体験学習受入事業	職場体験学習を希望する学生に対し、現場実習の場を提供した。 ・学校名 国際医療福祉大学	8月18日～9月17日	実習生 1名 【16名】

(6) ボランティア関連事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は元年度実績
ボランティアセンターの運営	ボランティア活動についての相談受付、活動紹介、情報の提供及びボランティア保険の取扱いを行った。 また、ボランティア活動推進のためのボランティア育成・広報啓発活動を行った。 ・ボランティア活動に関する相談対応件数 43件【52件】 ・上記相談に関する紹介件数 7件【31件】 ○社協・ボランティア事業に関するボランティア調整、派遣 ・障がい児者交流事業(コロナのため中止) 一名 【2名】 ・ふくし移動講座 51名 【253名】 ・しもつけふくしフェスタ(コロナのため中止) 一名 【62名】 ○下野市の事業に関するボランティア調整、派遣 ・天平の芋煮会 (コロナのため中止) 一名 【13名】 ・障がい児者スポーツ交流会(コロナのため中止) 一名 【5名】	通 年 合 計 1,636名 【1,917名】	延べ登録者数 (個人) 28名 【39名】 (団体) 71団体 【76団体】
福祉共育ボランティア講座	市内小中学校で実施する福祉体験学習で、子どもたちを見守りながら充実した学習ができるようサポートしてくれるボランティアを養成することを目的に開催した。 なお、2日目の小学校での実地体験は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 《内容》 1日目 車いす体験、高齢者疑似体験 2日目 ボランティアと小学校での実地体験 (中止)	10月27日 (火) ゆうゆう館 ボランティアルーム	参加者 2名 【6名】

傾聴ボランティア講座 (生涯学習情報センター共催)	相手の気持ちに寄り添い、話しに耳を傾けて心をこめて聴く「傾聴」について、初心者の方を対象に基礎的な知識とコツを学習し、傾聴ボランティア活動へのきっかけ作りとして新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら開催した。	<全4回：毎週金曜日> 10月9日、16日 23日、30日 生涯学習情報センター	参加者 12名 【19名】
なつ・ジュニアふくし体験 学習	子どもたちの福祉への関心や理解を高め、ボランティア活動への参加のきっかけ作りを目的として、市内の小学4・5・6年生を対象に予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	7月30日(木) 中止	参加者 一名 【24名】
手話講習会(入門コース) 「はじめての手話」	手話を通じて聴覚に障がいのある方を理解し、ボランティア活動への関心を高めるため、自己紹介、家族、日常会話等の基本的な手話表現の学習とろう者の方による講演会を新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら開催した。	<全15回：毎週月曜日> 10月19日～3月15日 ゆうゆう館 ボランティアルーム	参加者 9名 【10名】
サロンボランティア養成 講座	高齢者の介護予防、閉じこもり防止、仲間作り等の居場所作りが地域で徐々には増えている中、サロン運営についての説明と地域づくりのサポートができるよう「レクリエーション」「簡単工作」「コミュニケーション」について学び、サロンを活動するうえでのヒントになるよう新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら開催した。	<全3回：毎週火曜日> 12月8日、15日、22日 ゆうゆう館 会議室	参加者 14名 【24名】
災害ボランティア活動 講座	災害が起きた時に住み慣れた地域でお互いに支え合い、助け合えるよう、全国の被災地に向き第一線で活躍している鹿沼市社協 主査 柴田貴史 氏を講師にお招きし、避難行動や避難所生活についての講座を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	1月23日(土) 中止	参加者 一名 【35名 31名】

ボランティアセンター 広報紙の発行	ボランティアセンターで開催する各種講座の募集や報告、ボランティアに関する情報等を社協だより「ボランティアセンター情報コーナー“きらり”」に掲載し、市民に周知した。	年6回発行 5月・7月・9月・11月・ 1月・3月	各戸配布及び関係機関等 窓口 16,600部発行 【16,600部】
ボランティア交流会の 開催	ボランティアセンターに登録している団体や個人を対象に、ボランティア同士の意見交換を行い活動の現状や課題等を把握・共有し、ボランティア同士のネットワークづくりや自己啓発につなげ相互の交流を図ることを目的として開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。また、コロナ禍での活動状況を把握するためアンケート調査を行った。	10月13日(火) 中 止	アンケート調査 171名 <66団体145名,個人26名> ① 参加者 40名 ② 参加者 41名 【21団体34名,個人7名】
音訳ボランティア体験 講座 【社協ボランティアセンター 協力】	目の不自由な方などのために広報紙の内容を音声にして伝えるボランティア体験を、音訳ボランティアこだまが主体となって講師を務め、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら音訳の流れやパソコンを使つての録音・編集作業を行いデイズ版CDを作成した。	<全4回：毎週木曜日> 10月8日、15日、 22日、29日 生涯学習情報センター	参加者 2名 【6名】

(7) 福祉イベント事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は元年度実績
天平の花まつり招待事業 (下野市観光協会共催)	市内の老人福祉施設・心身障がい児者施設・精神障がい者施設及び障がい者団体を天平の花まつりに招待し、民生委員児童委員の協力によりアトラクション等を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	4月7日(火) 中止	招待数 一名 【414名】
ふれあいふくし運動会 (下野市共催事業)	老人クラブ連合会・身体障害者福祉会・心身障害児者父母の会等の福祉団体会員及び障がい者施設利用者が参加する運動会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	10月29日(木) 中止	参加者数 一名 【1,127名】
第14回しもつけふくしフェスタ・2020	市民の地域福祉に対する理解を高め、人と人とのふれあいの場を提供し、温かいまちづくりを目指すため「たすけ愛」をテーマにふくしスタンプラリーや市民等によるアトラクション発表、ボランティア活動や社協事業のPR等を行うための催しが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	11月28日(土) 中止	来場者数 一名 【約1,700名】

(8) 福祉サービス利用支援事業

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は元年度実績
福祉バス（ふれあい号）運行事業	福祉団体の活動及び社会参加を支援するためバスを運行する予定であったが、コロナウイルス感染症予防のため利用が無かった。	延べ利用回数 【10回】
手押し車の購入助成事業	外出に使用する手押し車購入費の一部を助成した。 ・対象者 おおむね75歳以上で手押し車を必要とする方 ・助成額 購入費の2分の1（限度額 5,000円）	利用者 40件 【51件】
福祉用具等貸出事業	新型コロナウイルス感染症予防対策の指導を行いながら、本会が所有する福祉用具・備品及びその他イベント用物品の貸出しを行った。 ＜貸出用具＞ 車椅子、福祉体験用具、イベント用具、わたあめ機、ポップコーン機、着ぐるみ等	利用者 車椅子 31台【84件】 イベント用具等 14件【77件】

(9) 成年後見制度支援事業【下野市委託事業】

事業名	事業の概要等	備考
成年後見制度支援事業	地域で安心して生活が送れるよう、権利擁護の推進及び被後見人等に対する支援体制の充実を図るため、下記の業務を実施した。 ○相談対応 ・市民や関係機関から寄せられる成年後見に関する相談に応じた。 ○広報・啓発 ・民児協での説明、FMゆうがお、パンプレットを作成しPRを行った。 ・新型コロナ感染症予防対策のため、計画していた講演会の代わりに職員による「出張型のミニ講話会」を実施し小規模での周知活動を行った。 ○成年後見申立ての支援 ・家庭裁判所に提出する申立書類作成の助言や同行訪問・面談等を行った。	制度に関する相談対応 ・新規相談件数 8件 延べ36回 ・ミニ講話会開催 1回 ・申立書類作成の支援 4件 年間支援件数 延べ345件 (法人後見支援件数を含む)

(10) 法人後見事業の推進

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は元年度実績
法人後見事業の推進	認知症高齢者や知的障がい者等で判断能力が不十分な方、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人として後見業務を受任し財産管理や身上保護を中心とする権利擁護サービスを提供できるよう新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し行った。 ・後見業務（身上保護、財産管理） - ケース会議や法人後見運営委員会を経て家庭裁判所より受任した成年後見人等の業務を実施した。 ・法人後見運営委員会の開催 社協法人後見を希望するケースが発生した際、運営委員会において受任の可否を判断した。また、被後見人等の支援状況の経過報告等を行った。	・受任数（後見類型） 4名 【4名】 ・委員会 3回開催 (10月、1月、3月) ・新規受任の検討 1名

(11) 日常生活自立支援事業

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は元年度実績
日常生活自立支援事業 (あすてらす・しもつけ)	基幹的社会福祉協議会として、認知症の高齢者や知的・精神障がいにより判断能力が低下し生活に不安のある方に対し、相談援助や契約、福祉サービス利用支援・金銭管理・書類等の預かりサービスを提供した。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中は民間生活支援員の支援を休止し専門員による支援に切り替えるなどしてサービス提供を継続した。 ・専門員の配置 (3名) ・生活支援員の配置 (社協職員5名、登録者11名) ・サービス内容 福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理サービス 1,000円/月 書類等の預かりサービス 500円/月 ・地区別新規相談件数 下野市 (8件)・壬生町 (5件) ・活動実績 合計 385回 [認知症高齢者等 166回 精神障がい者 61回 知的障がい者 151回 身体障がい者 7回] ・市町方式移行準備 令和3年度より県内すべての市町社協がサービスを行うこととなり、「あすてらすしもつけ」から壬生町の利用者が壬生町社協へ移管となるため、必要な手続きや引継ぎ等を行った。	延べ利用者数 認知症高齢者等 12名 【16名】 知的障がい者 9名 【8名】 精神障がい者 4名 【4名】 身体障がい者 1名 【1名】 合計 26名 【29名】 下野市 (22名) 壬生町 (4名)

(12) 生活困窮者自立支援事業（くらし応援センターささえーる）【下野市委託事業】

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は元年度実績
自立相談支援事業	生活困窮者の相談に応じ当該生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分確認することを通して、個人の状態にあった支援計画の作成を行い、関係機関との連携を含めた支援を包括的・継続的に実施した。 また、生活困窮者に対するプラン及び関係機関とのネットワークづくり等を検討するための支援調整会議を、新型コロナ感染症拡大により書面にて開催した。	新規相談受付件数 348件 【109件】 相談延べ件数 2,029件 【1,054件】 プラン作成件数 10件 【8件】 就労者数 21件 【12件】
家計改善支援事業	滞納や多重債務等、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、生活再建を支援した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業で減収した世帯に向けて、緊急小口資金等特例貸付を活用するためのあっせん支援を行った。	新規相談受付件数 266件 【46件】 相談延べ件数 1,535件 【534件】 プラン作成件数 1件 【2件】

(13) 相談事業

事業名	事業の概要等	期日・会場		備考 ※【 】は元年度実績
心配ごと相談所事業 (下野市委託事業)	新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、市民の日常生活上の相談に応じ、適切な助言を行った。 なお、緊急事態宣言を受け4月中旬から6月末までは開催を中止した。 ・相談員 民生委員児童委員、人権擁護委員、行政相談員 ・時間 午後1時30分～3時30分	毎月	石橋地区	13件【16件】
		第1～3月曜日	石橋公民館	
		毎月	国分寺地区	13件【21件】
無料法律相談事業 (下野市委託事業)	新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、弁護士による無料法律相談(要予約)を実施した。 ・相談員 栃木県弁護士会より派遣 ・時間 午後1時～4時30分	第1～4火曜日	ゆうゆう館	
		毎月	南河内地区	11件【12件】
		第1～3金曜日	南河内図書館	
		年12回	ゆうゆう館 相談室	109件【112件】

(14) 資金貸付事業

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は元年度実績
小口資金貸付事業	低所得者及び生活困窮者の市民に対して、生活費等の必要な資金を貸付けることにより経済的自立及び生活意欲の向上を図るため、30,000円(無利子)を限度に貸付を行った。	相談件数 4件【20件】 貸付数 4件【16件】
生活福祉資金貸付事業 (県社協委託事業)	低所得者・障がい者・高齢者・生活困窮者・避難世帯等を対象に資金の貸付と民生委員による必要な援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の向上を図った。 新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業で減収した世帯に向けて、緊急小口資金等特例貸付を行った。 ・資金の種類 「総合支援資金」「福祉資金」「緊急小口資金」「教育支援資金」「特例貸付」	相談件数 564件【38件】 貸付数 451件【1件】
行旅人援護事業	行旅人に対し援護費の支給を行った。 ・支給額 小山駅または宇都宮駅までの鉄道運賃額	支給件数 13件【7件】

(15) 会員募集

事業名	事業の概要等	期日	備考 ※【 】は元年度実績
社協会員募集	市民の福祉ニーズに応え、地域福祉の向上と事業推進を図るため、自治会・企業等の協力を得て会員募集を行った。 ・会費の種類 ＜普通会員＞ 12,936,100円 【12,894,400円】 ＜特別会員＞ 706,000円 【703,000円】 合 計 13,642,100円 【13,597,400円】 ・普通会員加入率 約84.1% 【約81.0%】	5月～8月 コロナ禍により期間を延長して実施	・普通会員 戸別 12,954件 法人 2件 【13,006件】 ・特別会員 個人 2件 法人事業所 172社 【173社】

(16) 広報活動

事業名	事業の概要等	期日	備考 ※(発行、件数等)
広報紙の発行	市民に向けて社会福祉事業に関する情報等を提供し、社会福祉協議会に対する理解を図るため、広報紙「しもつけ社協だより」を発行した。	年6回発行 5月、7月、9月、 11月、1月、3月	各戸配布及び関係機関窓口 (16,600部発行)
ホームページ活用(インターネット情報発信)	本会ホームページを活用し、事業PRや本会運営に関することなど、インターネットを通じて迅速な情報発信を行った。	通 年	情報更新回数 48回 【77回】
報道機関の活用(PR)	各新聞社、FMラジオ等の報道機関を活用し、本会活動PRのため情報発信を行い積極的にアピールした。 4月：ささえーる、特例貸付【FM ゆうがお】 9月：寄付(ゴルフ協会)【下野新聞】 10月：生活支援体制整備事業【FM ゆうがお】 12月：成年後見事業【FM ゆうがお】	通 年	2社 4回掲載・出演 【3社 8回掲載・出演】

(17) 共同募金事業

事業名	事業の概要等	期日	備考 ※【 】は元年度実績
共同募金運動の実施	市民を対象に一世帯あたりの募金目安額を800円とし募金活動を行った。また、法人・学校・職域・赤い羽根自販機募金等を実施した。新たな取り組みとして、市内事業所に募金箱設置の協力について周知し、3店舗の協力を得た。 なお、街頭募金活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 ・募金合計 <u>11,561,177円</u> 【11,459,070円】	10～12月	法人 156社 【168社】 戸別 12,442戸 【12,922戸】 職域募金・学校募金等 38件 【39件】
歳末たすけあい配分事業	市内在住の71歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に各地区民生委員の協力により歳末見舞品を配布した。 (おせち・お餅・マスク・エコバック)	12月	ひとり暮らし高齢者 国分寺地区 381名【388名】 石橋地区 433名【457名】 南河内地区 287名【295名】 合計 1,101名 【1,140名】
災害見舞金の配分	市民が火災等の非常災害を受けた際に、その被災世帯に対する見舞金・弔慰金の配分を行っているが、火災等の被害はなかった。	通年	一世帯 【3世帯】

(18) 日赤事業

事業名	事業の概要等	期日	備考 ※【 】は元年度実績
日赤社資募集	市民を対象に一世帯あたりの目安額を500円とし、赤十字活動資金の募集を行った。 合計6,593,100円【6,559,400円】	5月～8月 コロナ禍により期間を 延長して実施	13,213件 【13,250件】

災害救援物資の配分等	市民が主に火災などで被害を受けた際の救援物資の配分及び弔慰金の支給を行っているが、救援物資等の支給はなかった。	通 年	一世帯 【6世帯】
------------	---	-----	--------------

(19) 福祉団体の支援

下記団体が実施する活動に対して、助成金を交付し事務事業の支援を行った。

①事務局および助成金交付団体 (合計 1,260,000円)

団 体 名	助成額	主な事務・事業支援内容
下野市ボランティア連絡協議会	350,000円	活動者相互の交流や情報交換の場の提供、各種事業の開催を通してボランティア活動の推進が図れるよう支援を行った。
下野市老人クラブ連合会	300,000円	会員の福祉向上と相互の親睦、資質の向上を図る事を目的とし、社会奉仕・スポーツ大会・老人クラブ大会・福祉のつどい・研修会等の活動を行い諸団体との交流が図れるよう支援を行った。
下野市身体障害者福祉会	260,000円	障がい者の福祉向上と会員相互の親睦、資質の向上を図るため支援を行った。
下野市心身障害児者父母の会	100,000円	心身障がい児者の福祉の向上を図る事を目的とし、各種活動を通じ諸団体との交流が図れるよう支援を行った。
下野市ひとり親家庭福祉会	50,000円	ひとり親家庭世帯の福祉向上と会員相互の親睦、資質の向上を図るため支援を行った。
下野市遺族会	200,000円	英霊の顕彰・戦没者遺族の福祉向上と会員相互の親睦を図る為、追悼式・慰霊祭、各種研修会等の支援を行った。

②助成金交付団体 (合計 870,000円)

- 自治会長連絡協議会 (助成額 100,000円)
- 子ども会育成会連絡協議会 (助成額 100,000円)
- 民生委員児童委員協議会 (助成額 300,000円)
- おもちゃの図書館 (助成額 120,000円)
- 人権擁護委員会 (助成額 50,000円)

○特別支援学校合同研究会

(助成額 200,000円)

○レクリエーション教室

(助成額

0円) ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止

6. 在宅介護サービス事業

(1) 居宅介護支援事業【介護保険事業】

- ・日常生活を営むために必要な居宅サービスが利用できるようにサービス計画の作成を関係する事業者等と連絡調整を行った。

① ケアプラン作成

※【 】は元年度実績

事業所名	介護支援専門員数	利用者人数(月別)												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ケアプランセンター 下野市社協	常勤3名	97	95	98	101	95	104	105	97	92	95	94	96	1,169名 【1,183名】

② ケアプラン介護区分別作成人数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
478	302	200	122	67	1,169名

③ 予防プラン作成人数

※【 】は元年度実績

利 用 者 人 数 (月別)												合 計
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
13	13	15	14	14	14	15	14	13	15	14	16	170名【184名】

(2) 通所介護事業【介護保険事業】

・介護予防や要介護認定を受けた方に対し、入浴サービス・食事・生活相談等の支援を行った。

※【 】は元年度実績

事業所名	介護区分	利用者人数(月別)												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
下野市社協 デイサービス センターのぞみ	総合事業	10	10	9	10	9	9	7	11	10	10	8	8	111
	要支援1	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	29
	要支援2	7	7	7	7	6	6	7	6	6	6	5	5	75
	要介護1	19	19	19	17	14	16	17	16	19	20	18	19	213
	要介護2	9	11	9	8	8	10	10	8	8	7	7	8	103
	要介護3	6	6	6	5	4	3	5	4	4	4	3	3	53
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	合計	55	56	53	50	44	47	49	48	50	51	45	48	596名 【716名】

(3) 地域包括支援センターの運営【下野市委託事業】

- ・地域包括支援センターにおいて、在宅で介護を必要とする方、またはその介護者に対し介護予防サービス計画及び在宅介護に関する総合相談、助言、関係機関との連絡調整を行った。

①月別件数

事業所名	内 容	利 用 者 人 数 (月別)												小計	合 計 【 】は元年度実績
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
地域包括支援センター	予防プラン作成 件数	56	60	61	62	64	66	66	65	68	66	69	74	777	1,358名 【1,221名】
	介護予防・日常生活支援事業 チェックリスト該当者	50	47	48	47	49	46	45	48	49	53	50	49	581	

②主な相談内容

相 談 内 容												合 計 【 】は元年度 実績
内 容	介護予防	身体・生活 全般	社会資 源連携	介護保険	行政福 祉サー ビス	認知 症・精神 疾患	権利 擁護	CM相 談・支援	経済	医療 連携	その他	
件数	2, 5 2 3	2, 4 2 4	1 4 3	2, 5 6 2	3 2 5	6 2 6	5 0 8	1 4 9	1 5 4	2 5 4	3 4 9	10, 0 1 7 名 【8, 8 4 9 名】

③健康教育事業の開催

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は元年度実績
独居高齢者・老人クラブ・希望者等	栄養、口腔、ストレッチ、認知症サポート養成講座等、介護予防の環として、地域に出向き、健康教室を年35回開催した。なお、4～6月、1～3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	ゆうゆう館、国分寺公民館、ポッポ館、友愛館、国分寺中央コミセン、川北集落研修センター、姿西部考古台地コミセン、東方台地コミセン、各自治会公民館	延べ 434名 【870名】

④元気はつらつ体操事業

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は元年度実績
希望者等	地域住民が主体となって運動を継続できる組織作りを支援するための体操指導を年9回開催した。なお、4～6月、1～3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	市役所、国分寺公民館、下町公民館、川北集落研修センター、朝日公民館	延べ 163名 【949名】

⑤ほっと介護教室（3センター合同開催）

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は元年度実績
介護に興味のある方	高齢者の健康や介護、消費者被害に関することなどの勉強会を行い、将来の介護や健康についての教室を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。	中 止	延べ 1名 【43名】

⑥家族介護交流会（3センター合同開催）

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は元年度実績
高齢者を在宅で介護している 家族	交流会に参加することにより、介護から一時的に解放され、身体的・精神的リフレッシュを図る目的で開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。	中 止	延べ 一 名 【45名】

7. 収益事業

事 業 名	事 業 概 要	※【 】は元年度実績
天平の花まつり旗の販売	市内外企業等に協力依頼し天平の花まつり奉納用のぼり旗の販売を行っているが、天平の花まつりが新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となったため販売を中止とした。	
	価 格 8,800円/本 販売額 一 円 一本 【92本 809,600円】	

8. ゆうゆう館指定管理業務

事業名	業務の概要	内 容 ※【 】は元年度実績
「ゆうゆう館」指定管理 事業	市民の保健の向上及び福祉の増進を図り、保健サービスおよび福祉サービスを推進し、施設の効率的かつ効果的な管理運営を行った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者の制限措置等の対策を取りながら運営に努め、自主事業として新たに福祉用具展示や敬老感謝デーの1日無料開放を行い市民へのサービス向上に努めるとともに、ポスター・パンフレット作製や「ゆうゆう館」ホームページを開設し、情報発信の充実に努めた。また、新たに令和3年度からの指定管理者としての申請手続きを行った。 ○入浴施設等の利用状況 ・ 天平の湯入館者数 61,691人 【144,720人】 ・ 利用料収入 14,125,100円【30,776,100円】 ○施設ボイラー設備修繕工事の実施 ・ 8月1日～8月31日 ○ホームページの開設 更新回数 6回

9. 社協事業の経営分析等の推進

事業名	業務の概要	内 容
社協事業の経営分析等の推進	自主事業等を中心に経営状況の分析と職員の経営に関する啓発を図りながら、事業の検討・見直しなどを行った。また、会計事務所等から経営的な視点にもとづくアドバイスを受け自立した社協を目指し、経営の安定・向上に取り組んだ。	・ 社協事業全般に亘る事業シートを作成し、重点事業を中心に課題の洗い出しを行い、各種事業内容の改善に取り組んだ。また、介護保険事業では、居宅介護事業及び通所介護事業の経営安定を図るため利用者の確保に努めた。 ・ 指定管理業務については、取り引き先の業者選定の見直しを図り、経費削減に取り組み経営の向上に努めた。 ・ 新型コロナウイルス感染症の予防策として事務所を分散化及びバーテーション設置等の拡大防止に努めるとともに、予防対策を徹底しながら事業運営に努めた。